

# 令和5年ホヤ類調査結果速報 No. 2

令和5年8月29日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

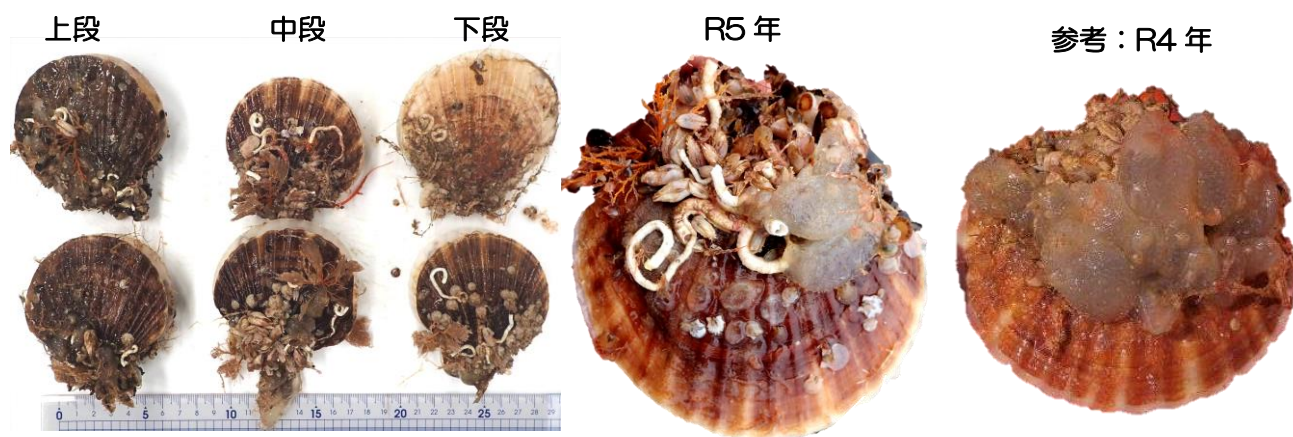
8月24日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

## 結果概要

※「平年」とは「過去10ヶ年平均」を表します。

- 耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は7月増加しました（図3上）。平均付着個体数はホタテガイ1枚あたり30.1個体（表1）と平年の約4割で、昨年よりも少ないです（図3上）。  
—
- 平均サイズは5.3mmと平年よりも小さく、5mm未満が約7割を占め、最近付着した個体が多い状況です（図2）。
- 付着個体数が少なく、付着サイズが小さいため、ホタテガイ1枚あたりの付着重量は3.0gと平年よりも低い数値です（表1、図3下）。ただし、今後成長に伴い増重します。
- 9月以降は新たに付着する個体が減り、付着個体数も減少に転じます（図3上）。しかし、今年は付着のピークがやや遅れている可能性もあるため、来月の調査結果を注目してください。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和5年8月24日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和5年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

# 耳吊りホタテ貝付着物調査

[調査月日：8月24日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚]

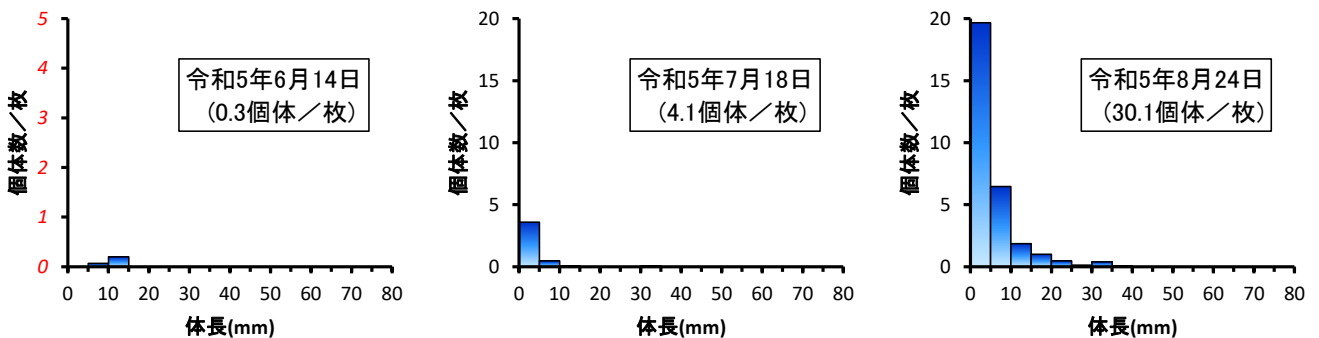
ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数は、ホタテガイ1枚あたり30.1個体(過去10ヶ年の平均71.7個体)、平均付着重量は同3.0g(同17.1g)でした。また、平均サイズは5.3mm(同9.1mm)でした(表1、図2)。

付着数及び付着重量は平年を大きく下回っています。また、平均サイズがかなり小さく、肉眼で識別が困難な5mm未満の小型個体が全体の約7割を占めていることから、平年よりもヨーロッパザラボヤは目立っていません(図1、2)。付着サイズが小さい要因は、平年と比べて付着のピークが遅れている可能性が考えられます。この場合、新たな付着が続く恐れがありますので、次回の調査結果に注目してください。

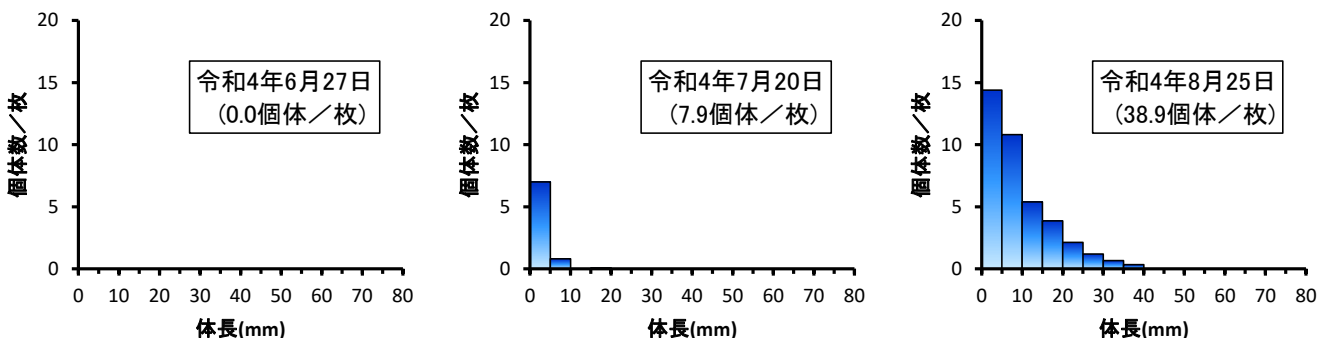
表1 付着生物調査結果(八雲地区：令和5年8月24日)

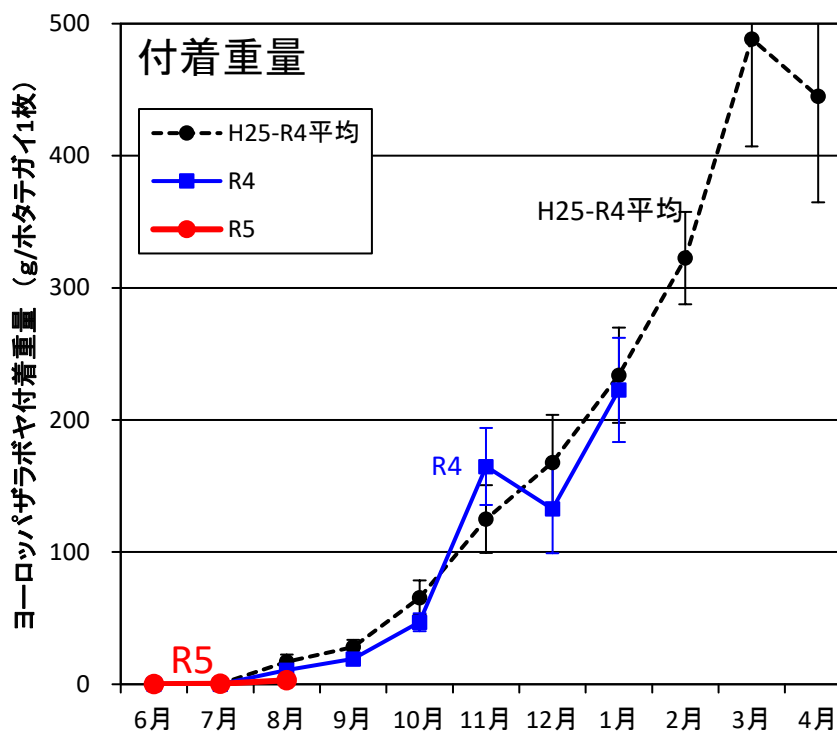
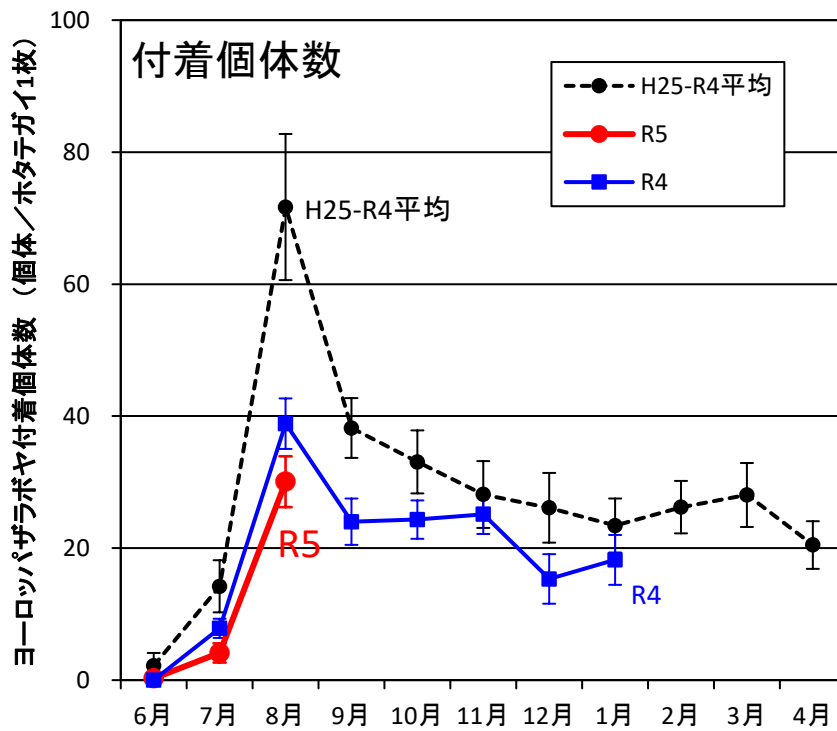
ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	地区平均
全付着物重量	24.4g	18.3g	11.9g	18.2g
ヨーロッパザラボヤ	4.7g	2.6g	1.7g	3.0g
その他	19.7g	15.7g	10.3g	15.2g
ヨーロッパザラボヤ個体数	33.6個体	35.6個体	21.0個体	30.1個体
令和4年8月(R4.8.25)の個体数	41.6個体	42.0個体	33.0個体	38.9個体
令和3年8月(R3.8.26)の個体数	22.6個体	33.6個体	19.6個体	25.3個体
令和2年8月(R2.8.17)の個体数	103.6個体	138.8個体	35.8個体	92.7個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成(八雲地区：令和5年6~8月)



参考 昨年のヨーロッパザラボヤのサイズ組成(八雲地区：令和4年6~8月)





上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化  
 下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化  
 各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。  
 過去10ヶ年（H25～R4年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は7～8月に大きく増加し、8～9月に大きく減少した後、10月以降は緩やかに減少します。付着重量は10月以降、急激に増加します。